

## 令和5年度中学校給食に関するアンケート調査結果

### 【調査の目的】

平成15年度から実施している現行の選択制給食の効果を検証し、今後の給食実施の検討材料とする。

### 【調査対象者：アンケート回答数】

市内中学生：3,227人／3,728人（回答率86.6%）

市内中学保護者：1,563人／3,463人（回答率45.1%）

### 【アンケート実施期間】

令和5年12月4日（月）～12月20日（水）

### 【調査方法】

Google フォームでアンケートを作成し、対象者に二次元コード及びURLを配付し回答を得る。生徒は学校でタブレットを使用して回答。

### 【令和6年1月時点の弁当給食申し込み率】

63%

（内訳）

春日中	春日東中	春日西中	春日南中	春日野中	春日北中
47%	66%	72%	65%	57%	70%

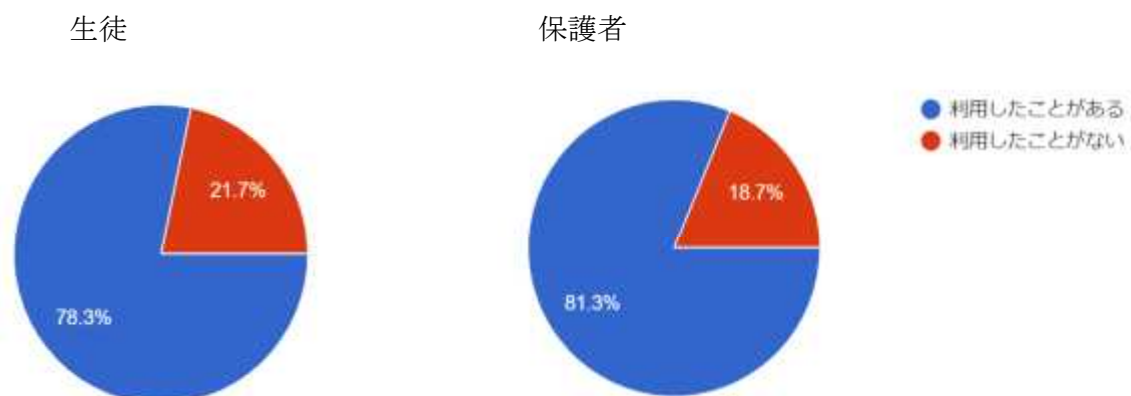
### 【アンケート結果】

- ・「選択制弁当給食」を利用したことがあるという回答は、約80%と利用実績としては高い結果となった。
- ・選択制弁当給食を利用しない理由として、「美味しくないと聞いたから」という意見があった。献立や調理方法の工夫・改善、保護者試食会の増など中学校給食に対する理解を深める取組をさらに推進する必要があると思われる。
- ・「家庭からの弁当」については、メリットとして「好みや体調に合わせておかずの内容や量を調整することができる」という回答が多く、デメリットとして「夏場の衛生面に不安がある」「弁当をつくるのが負担」という回答が多かった。
- ・「選択制弁当給食」については、メリットとして「家庭からの弁当やパンの購入などと選択できる」「バランスのとれた食事を安価で食べられる」「温かいおかずは温かく、冷たいおかずは冷たく提供される」という回答が多く、デメリットとして「おかずの内容や量を調整できない」という回答が多かった。
- ・「中学校給食のあり方」については、生徒は、選択制弁当給食66.7%・全員給食9.8%に対し、保護者は、選択制弁当給食31.2%・全員給食57.4%という結果になった。中学校給食開始前（平成11年度）のアンケート調査と比較したところ、生徒及び保護者ともに全員給食を望む回答の割合が減少している。
- ・全体を通して、選択制弁当給食の特長があらわれた結果となった。選択制弁当給食の利用実績も高く、中学校給食導入から20年以上が経過し、現行制度が定着してきたと思われる。

## 【各設問について】

### 1 選択制弁当給食の利用実績について

問) 選択制弁当給食を利用したことがありますか。



問) 選択制弁当給食を利用しない理由を教えてください。



〈結果に関する考察〉

「選択制弁当給食を利用したことがあるか」については生徒、保護者ともに、約8割が利用したことがある。

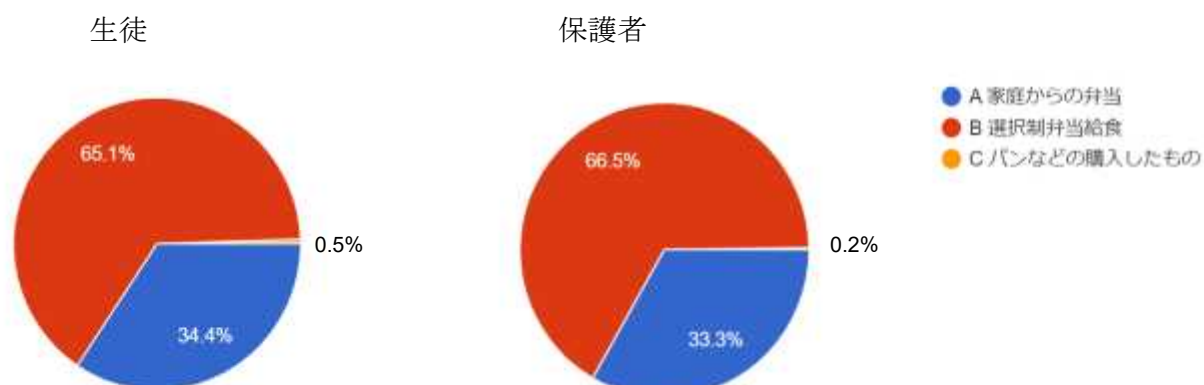
「選択制弁当給食を利用しない理由」では、生徒、保護者ともに、もっとも多いのが「家庭内で弁当を作る人がいるから」であった。また、「その他」の回答では、「(知人等から) 美味しくないと聞いた」といった意見が複数あった。

#### 【参考】

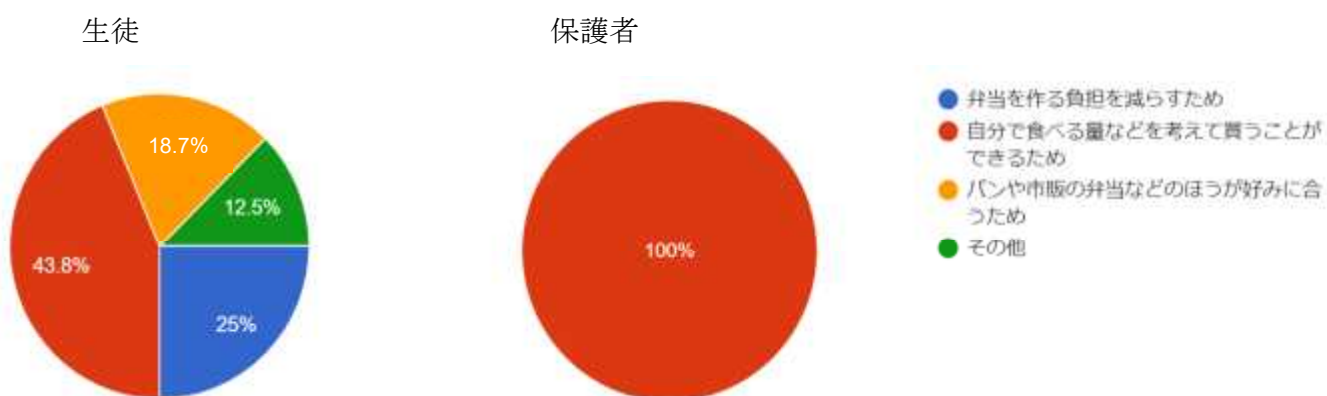
「選択制弁当給食を利用しない理由」として、「美味しくないと聞いた」といった意見があるが、令和5年度に行った中学校給食の保護者試食会において、実際に食した弁当給食の感想を集計したところ、「おいしくない」と答えたのは106人中1人のみであった。

## 2 学校での昼食実態について

問) 学校での昼食について、利用頻度が多いものは何ですか。



(Cを選んだ人のうち) その理由



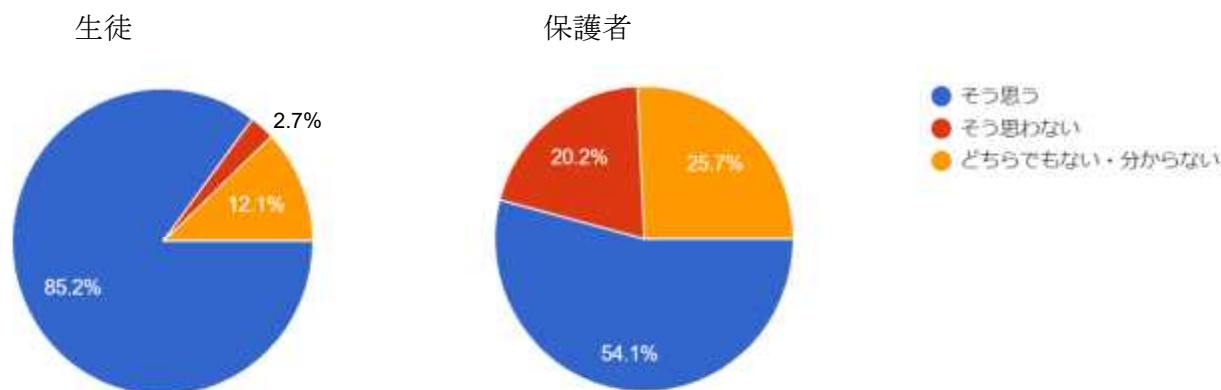
〈結果に関する考察〉

学校での昼食について、利用頻度が多いものは「選択制弁当給食」がもっとも多く、「家庭からの弁当」、「パンなどの購入したもの」と続いた。「パンなどの購入したもの」は、生徒が0.5%、保護者が0.2%と極めて少数であった。

「パンなどの購入したもの」を選んだ保護者の理由は「自分で食べる量などを考えて買うことができるため」のみであったが、生徒は複数の理由に分かれる結果となった。

### 3 家庭からの弁当に関する意識について

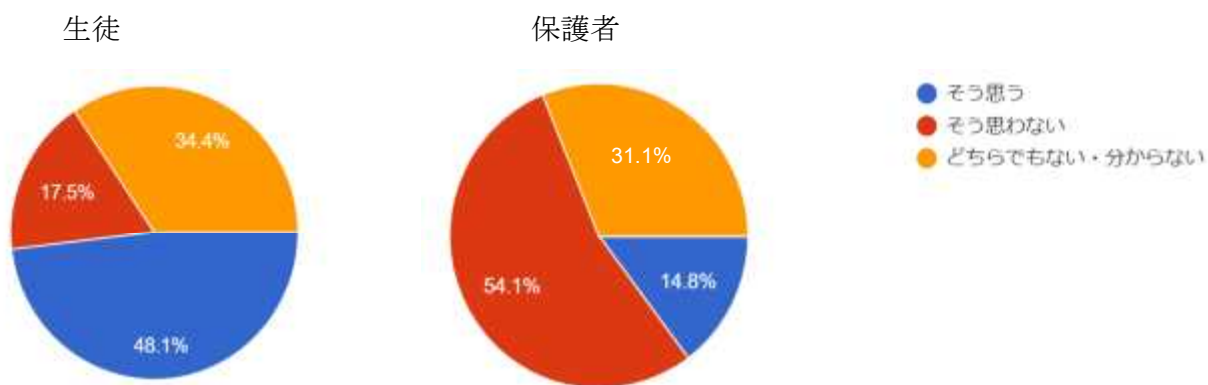
問) 家庭からの弁当は、好みや体調に合わせておかずの内容や量を調整できるので良い。



〈結果に関する考察〉

生徒は85.2%が「そう思う」と答えているが、保護者は54.1%であり、生徒と保護者との間で開きがあった。

問) 生徒が弁当づくりを手伝うもしくは自分で作るきっかけになるので良い。



〈結果に関する考察〉

それぞれもっとも多い回答が、生徒は「そう思う」48.1%、保護者は「そう思わない」54.1%となっており、生徒と保護者とは真逆の結果となった。

生徒自身の意識として、およそ半数が弁当づくりのきっかけになると回答していることから、家庭の弁当づくりが、生徒が食に関わる1つの取組になっていると言える。

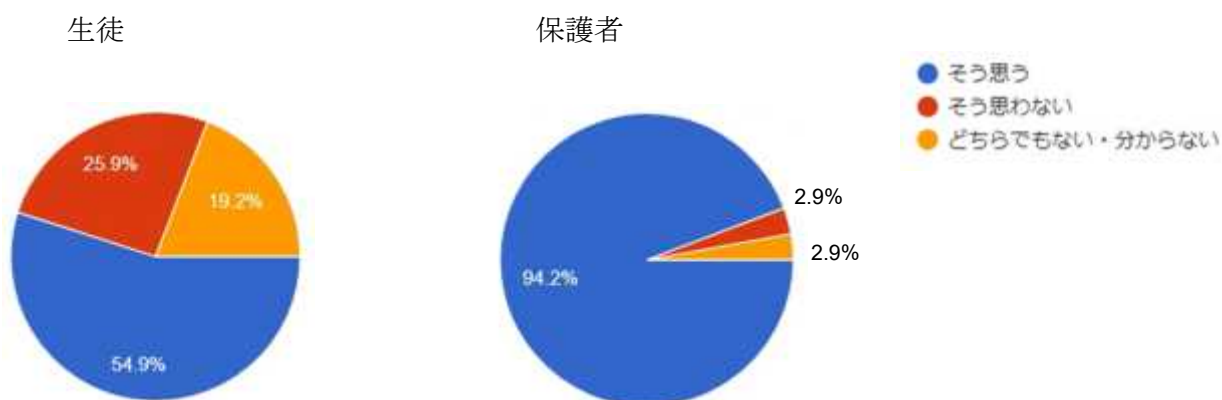
問) 弁当づくりは大変である



〈結果に関する考察〉

「そう思う」が生徒82.6%、保護者85.6%となっており、ともにもっとも多い。

問) 夏の暑い日などは、弁当が傷まないか（悪くならないか）心配である。

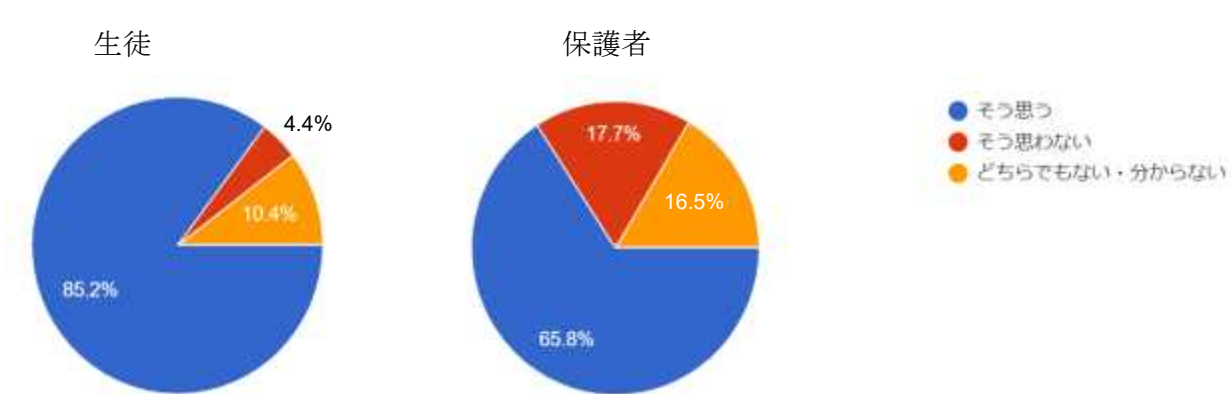


〈結果に関する考察〉

「そう思う」が生徒54.9%、保護者94.2%となっており、ともにもっとも多い。特に保護者の心配が強いことが分かる。

#### 4 「選択制弁当給食」に関する意識について

問) 家庭からの弁当やパンの購入などと選択できるので良い。



〈結果に関する考察〉

「そう思う」が生徒85.2%、保護者65.8%となっており、ともにもっとも多い。特に生徒は選択できることをメリットと捉えている。

問) 栄養バランスのとれた食事を安価に食べられるので良い。



〈結果に関する考察〉

「そう思う」が、生徒76.6%保護者87.7%と、ともにもっとも多い。特に、保護者は、弁当給食の栄養バランスと価格を評価していることがわかる。

問) 温かいおかずは温かく、冷たいおかずは冷たく提供されるので良い。



〈結果に関する考察〉

「そう思う」が、生徒79.5%保護者91.9%と、ともにもっとも多い。特に、保護者の評価が高いことがわかる。

問) おかずの内容や量を調整できないので不便だ。

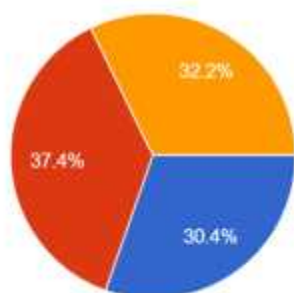


〈結果に関する考察〉

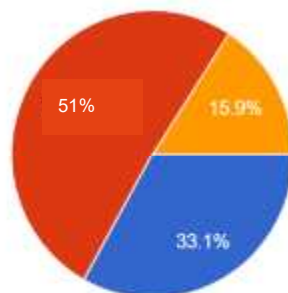
生徒は、「そう思う」が59%でもっとも多く、保護者は、「そう思わない」が40.9%でもっとも多い。今の弁当給食では量の調節が出来ない事を不満に思っている生徒が多い。

問) 給食の申込手続きが手間である。

生徒



保護者



● そう思う  
● そう思わない  
● どちらでもない・分からない

〈結果に関する考察〉

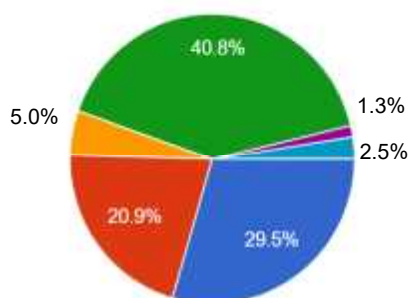
給食の申込手続きが手間だと思わないが、生徒37.4%、保護者51%と、ともにもっとも多い。

なお、令和5年度から、従来の紙の申込みをネット申込みに変更し、学期ごとに申し込むことも可能となっており、利便性が良くなったと思われる。

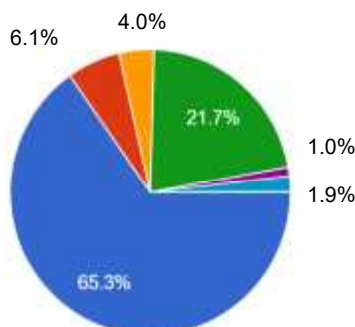
## 5 昼食に求めていることについて

問) 昼食をとる上で、次の選択肢の中からあなたが最も重視していることは何ですか。

生徒



保護者



● 栄養バランスのとれた食事であること  
● 自分が食べられる量の食事であること  
● 費用が安価であること  
● 美味しい食事であること  
● なるべく周りと同じ物を食べる  
● 食物アレルギーに対応していること

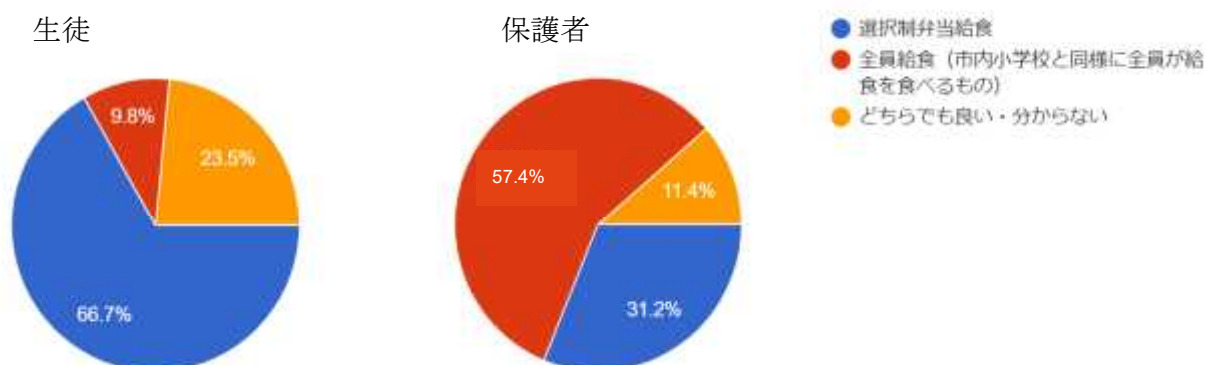
〈結果に関する考察〉

生徒は「美味しい食事であること」を重視し、保護者は「栄養バランスのとれた食事であること」を最も重視している。保護者は、成長期である子どもに栄養バランスのとれた食事を取ってほしいという思いから、当該結果になっていると思われる。生徒は「美味しい食事であること」「栄養バランスのとれた食事であること」「自分が食べられる量の食事をとること」に大きく回答が分かれている。



## 6 中学校給食のあり方について

問) 中学校給食について、あなたが良いと思う方式を教えてください。



### 【参考】

平成11年度に、中学校給食導入など、その在り方について審議する「春日市中学校給食審議会」における基礎資料として活用するため、アンケートを実施している。

・調査対象者：アンケート回答数

市内中学生徒：3,819人／3,974人（回答率96.1%）

市内中学保護者：3,269人／3,418人（回答率95.6%）

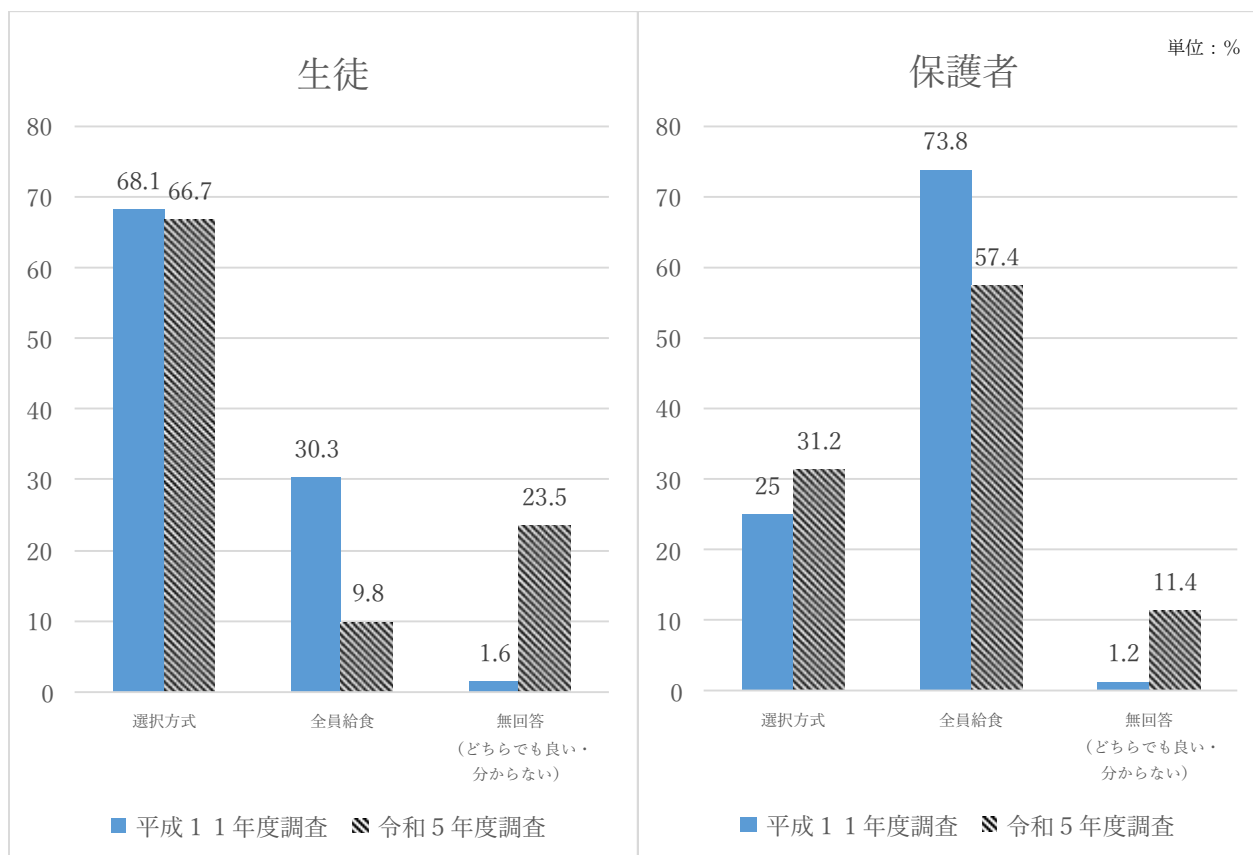
・調査期間

平成11年10月18日（月）～11月5日（金）

・給食実施方法について（選択制給食と全員給食の2者択一）

	選択制弁当給食	全員給食	無回答
生徒	68.1%	30.3%	1.6%
保護者	25.0%	73.8%	1.2%

平成11年度と令和5年度の比較



〈結果に関する考察〉

平成11年度の給食実施前のアンケートと今回のアンケートを比較し、大きな変化があったのは、生徒、保護者ともに全員給食希望率の低下である。一方で、選択制給食希望率は保護者で6.2%増加し31.2%になっている。生徒は1.4%低下しているものの、66.7%という高水準を保持している。これは、選択制給食を導入してから20年が経過し、現行制度が定着してきたものと思われる。

また、「どちらでも良い・分からない」を選択した人の意見でも、選択制弁当給食を肯定的に捉えているものが見受けられる。

○生徒が選んだ選択肢に対する意見（一部抜粋）

選択制給食

- ・自分に合ったものを選べるから。
- ・弁当だと、自分で栄養バランスや量を決められるから。
- ・アレルギーなどでみんなと同じ給食を食べられない人もいるから。
- ・現状に満足しているので、そのままが良い
- ・全員給食だと残してしまい食品ロスになってしまうかもしれないから

全員給食

- ・一緒に準備して同じ給食を食べて、片付けすることを通して絆ができていいと思う。
- ・栄養バランスがしっかりとれるから
- ・保護者が楽だと思うから
- ・お弁当忘れの対応、確認などの手間が減る
- ・全員給食にすれば、最終的な「給食費無償」が実現できる。また、最近は朝ごはんを食べていなかったり、家庭での食習慣があまり良いものでなかったりする人も多くいるため、栄養の取れた給食を全員が食べることで健康な生徒を増やすことができる。

どちらでも良い・分からない

- ・給食という形であれば、どちらでも構わないと思ったから
- ・お弁当がいい人もいるし給食がいい人もいてどっちの意見もあるからわからない
- ・今のままでいいと思うから
- ・それぞれの考えがあつていいと思ったから。
- ・小学校の給食美味しかったけど、みんながどう思うかは知らないから。

などを挙げていた。

○保護者が選んだ選択肢に対する意見（一部抜粋）

選択制給食

- ・個人で選べるなら多様性があり良い
- ・子供が選べて、今まで給食がストレスだった子供が選択出来る事でストレスが減ったから良かったと思う。
- ・どちらにも、メリットデメリットがあるので、選べた方が良いと思う。
- ・給食も良いと思いますが、家庭からのお弁当の良さもあるので、個人個人で選択できると良いと思います。
- ・我が子たちはパンが苦手な日は学校に行きたく無いと言うほど。お弁当になってからは全く無いので大変ですがお弁当を選んで喜んでいきます。

全員給食

- ・全員に安定した食事の提供が最善だと思うため。
- ・選べるが故に子供が選択給食が嫌なので手作りお弁当になり、親の負担が大きい
- ・好き嫌いをなくすのにはいいと思う
- ・周りの市町村も給食になっているため検討してもいいと思う。
- ・みんなで同じ給食を食べる事がいいと思います

どちらでも良い・分からない

- ・親としては、給食のほうが助かるが、子どもにとっては選択肢が多い方がいいと思う。
- ・今の制度で満足しているから。
- ・小学校のように、そこで作って量もその人その人で変えられるなら給食はいいと思う。
- ・各家庭それぞれの事情があるだろうから
- ・皆が食べられるように全員給食も良いとは思いますが、そもそも給食が苦手な子も居るので難しい問題かと思っています。

などを挙げていた。